

# 教 育 研 究 業 績

氏名      Chu Johnny Tim

学位：英語教授法（TESOL） 修士

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド
言語学、第二言語習得、TESOL	誤訂正、相互作用仮説、知識蓄積

主要担当授業科目	資格英語, Writing, Reading, Vocabulary, Homestay English, Advanced English Conversation, English Presentation, Tourism English, Business English, English Business Presentation
----------	---

## 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項

事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例  英語ラウンジ	2018年 9月1日 ～2020年 1月31日	学生のスピーキング、コミュニケーションスキルの改善を目的とした英語イベントを国学院大学経済学部、教育学部で運営した。このイベントは毎週開催され、毎回およそ12人の学生が参加した。
2 作成した教科書, 教材  パワーポイント	2020年 4月1日 ～現在に 至る	東京電通大学の英語コースにおいて、アカデミックプレゼンテーション、アカデミックライティングに関するプレゼンテーション資料を作成した。
3 教育上の能力に関する大学等の評価 特になし		
4 実務の経験を有する者についての特記 事項 特になし		
5 その他 特になし		

## 職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項

事項	年月日	概要
1 資格, 免許 サンノゼ大学 大学院 TESOL 資格	2017/6/1	サンノゼ大学 TESOL コース修了
2 特許等 特になし		
3 実務の経験を有する者についての特記 事項 特になし		
4 その他 特になし		

## 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

著書, 学術論文等の名称	単著・ 共著の 別	発行又は発 表の年月	発行所, 発表 雑誌等又は発 表学会等の名 称	概要
(著書)				
1 特になし				
2				
3				
:				
(学術論文)				

<p>1 Error Correction Performance by Native Speakers of English on Non-Native Speakers of English(peer-reviewed) 英語ネイティブスピーカーによる非英語ネイティブスピーカーの誤り訂正の実行 (査読付)</p> <p>2 The Role of Interaction in Second Language Acquisition (peer-reviewed) 第二言語取得における相互作用の役割 (査読付)</p> <p>3 :</p>	<p>単著</p> <p>単著</p>	<p>2020/3</p> <p>2020/3</p>	<p>Annual Report of JACET-SIG on ESP, (ISSN 1346-4302 . 2019, vol. 21, p. 48-53.</p> <p>Annual Report of JACET-SIG on ESP, (ISSN 1346-4302 . 2019, vol. 21, p. 59-62.</p>	<p>本研究では、ネイティブスピーカーと非ネイティブスピーカーの間で用いられる修正手段の違いが、相互作用にどのような影響を与えるかを探る。これらのタスクを通じて、ネイティブスピーカーが非ネイティブスピーカーを修正するかどうかを知ることができる。本研究で用いられた戦略は、訂正、理解度の確認、要求の明確化、明示された修正などである。本研究では、明示された修正が最も一般的であることがわかった。</p> <p>この論文では、相互作用が第二言語取得にどのように影響を与えるかについて考察した。マイケル・ロング氏が提唱した相互作用仮説は、この分野で最も注目されている理論である。この文献レビューでは、ネイティブスピーカーと非ネイティブスピーカー、非ネイティブスピーカーとネイティブスピーカーの相互作用に注目した。これらの相互作用は、語学講師が教室で仮説を適応し実践するための基礎となるものである。</p>
<p>(その他)</p> <p>1 How to Use Google Classroom Workshop Google Classroomの使い方についてのワークショップ</p> <p>2 Difficulties of Remote Teaching リモート授業の問題点</p> <p>3 :</p>		<p>05/2020</p> <p>07/2020</p>	<p>19th Research Seminar of the Research Station for Innovative &amp; Global Tertiary English Education (IGTEE), 電気通信大学、東京、日本</p> <p>JACET ESP Kanto and the Research Station for Innovative &amp; Global Tertiary English Education (IGTEE), 電気通信大学、東京、日本</p>	<p>このワークショップは、Google Classroomの使い方を講師に教えることを目的とし実施された。新型コロナウイルスパンデミックの影響により、世界中の多くの講師は遠隔地授業への変更を余儀なくされたが、彼らは学習管理システム(LMS)を使った経験がほとんどなかった。Google Classroomは非常に効果的なツールであると考えられており、学生の管理や指導にGoogle Classroomを効果的に使用方法についてのプレゼンテーションを希望する声が多くあった。 発表者：Johnny Chu and Adam Dabrowski</p> <p>本発表では、COVID-19パンデミックの際に、英語講師がリモート授業で直面した問題点について議論した。COVID-19パンデミックの影響で、2020年には多くの講師が未知の世界に身を置くことになった。本発表では、問題点を明らかにするとともに、リモート授業時に用いられた手法も紹介した。また、日本ならびに世界での語学指導の将来的な展望についても議論された。</p>

(注) 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。